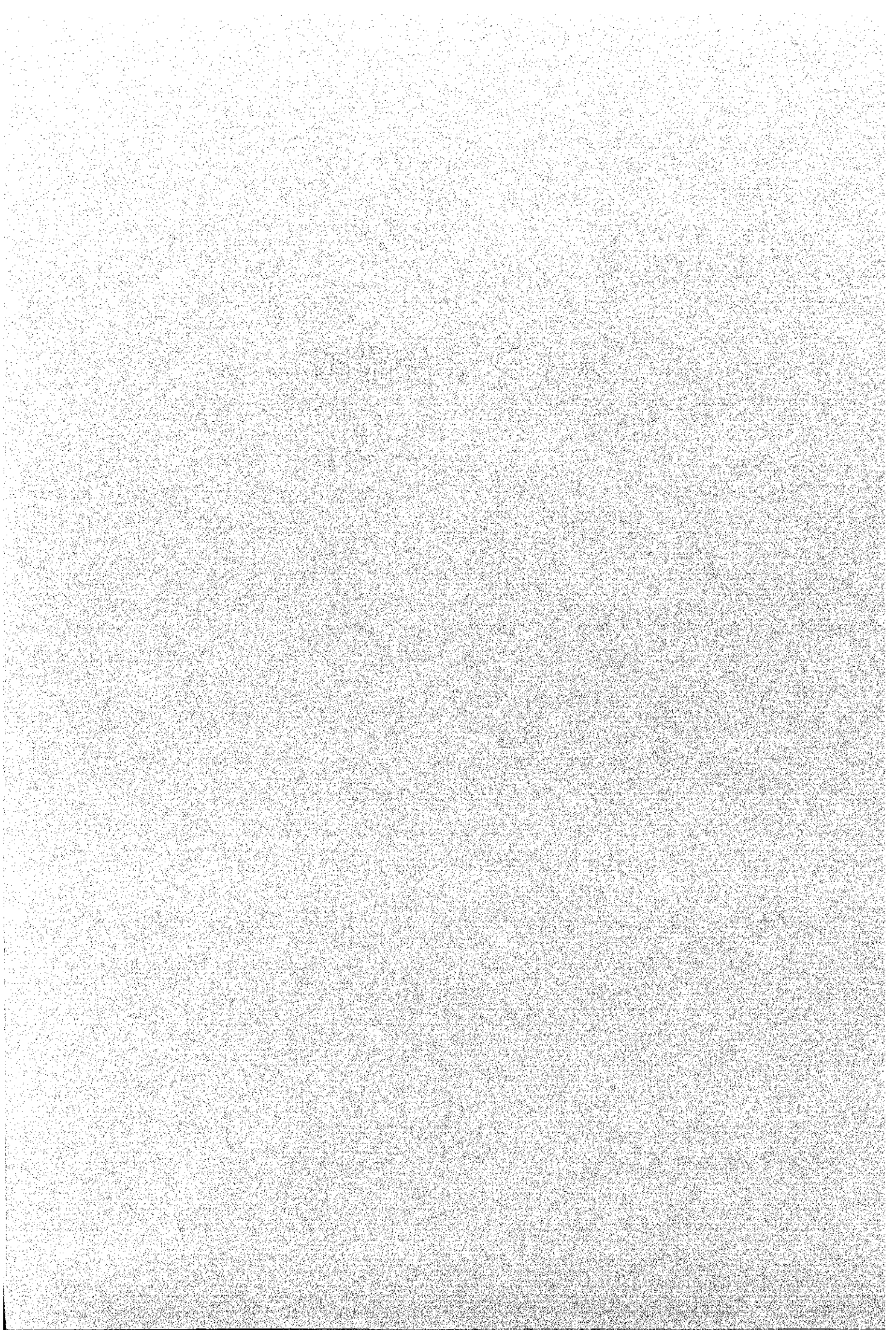


メキシコ合衆国



# 海外日系団体活動状況調査票

## 1. 基本情報

団体名称	(和文) (社) 日墨協会			
	(欧文) Asoc. Mexico Japonesa, A.C.			
設立目的	1) 文化、教育、スポーツ及び社会的活動を通し、日墨両国の友好親善促進を図る。 2) 会員相互の親睦と厚生、福祉の増進 3) 日本語、日本文化の普及			
設立年月日	1956年 7月 30日	法人格取得年月日	1956年 7月 30日	
代表者	職名	会長	任期	97年 6月～ 99年 2月
	氏名(和文)	田中 レネ		
	// (欧文)	Rene Tanaka		
役員構成	会長 1名、副会長 3名、理事 26名、事務局長 1名			
本部所在地	Calle Fujiyama 144, Col. Las Aguilas, C.P. 01710, D.F., Mexico			
連絡先	郵便物宛先	Calle Fujiyama 144, Col. Las Aguilas, C.P. 01710, D.F., Mexico		
	電話番号	05-651-9382 / 593-1444 (団体) 個人宅[ ])		
	FAX番号	05-664-1500 (団体) 個人宅[ ])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[ ])		
会員数	個人会員	459世帯 1,363名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ___ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世
		145人(11%)	不明	不明
法人、団体会員	15法人(団体) 主な法人(団体)名: 三菱商事、三井物産、JAL等			
会員資格等	会員資格	・18才以上の男女(国籍問わず) ・当地居住者		
	会費	年間 150米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨 10.00ペソ)		
	会員の特典	レストラン割引、会報の無料送付、プールの自由使用、テニスコートの使用 協会特約店における特別割引、協会主催イベントへの参加、日本語教室授業料割引		
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語、スペイン語			
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 日本語、スペイン語			
定期出版物	タイトル	Boletin Informativo		
	発行部数	1,200		
	言語	日本語、スペイン語		
	価格(有料の場合)	無料		

## 2. 事業実施体制

### (1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務担当	1	1
	経理担当	2	
	施設管理担当	2	
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	レストラン	35	
	日本語教育センター	1	1

### (2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
企画運営委員会	レストラン・施設の運営管理	2
秘書	会議録等の作成(理事会において)	2
会計	協会経理の総合的管理・チェック	3
国際部	海外との連絡業務・訪墨団アテンド	1
国内連絡部	国内の地方日系団体との連絡業務	2
厚生部	会員及び日系高齢者の厚生・福祉の増進	2
文化部	文化イベント等の企画・実施	3
スポーツ部	日系スポーツ大会への参加、プール・テニスなどのスポーツ施設管理	2
学務部	日本語教育センターの運営、日系人優秀学生の選抜	2
広報部	Boletin Informativa(会報)の編集・発行	2
渉外部	日系人冠婚葬祭への参加	2
社交部	日墨協会主催恒例行事の企画・実施	2

### (3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
事務所	常時職員がおり業務を遂行 火～日 9:30～1800 月曜休
レストラン	火～日営業 (火～土 13:00～22:00 / 日 13:00～19:00)
文化会館	展示会、セミナー等各イベントのために利用
階上サロン	パーティ、会議、恒例行事の会場として利用
庭(Jardin)	子供用のパーティ、披露宴等の会場として利用
茶室	お茶会(年2～3回)の際に利用
テニスコート	7:00～17:00 開放
プール	10:00～17:00 開放
倉庫	レストランで必要な在庫品の管理
日本語学校	毎週土曜日 9:30～17:30(午前・午後のコース)

### 3. 財政状況

#### (1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1) レストラン売上げ	333,462.87	1) レストラン経費	240,588.44
2) 会員費	14,249.50	2) レストラン以外の	
3) サービス料	9,940.20	運営経費	138,411.19
4) 寄付金	119,192.10	3) 管理費	174,917.38
5) その他収入	21,734.42	4) 行事費	3,492.24
6) JICA助成金	5,000.00	5) 諸経費	7,741.93
		6) 日本語教育センター	
		運営費	5,824.00
合計	503,579.09	合計	570,975.18

換算レート：US\$1＝現地通貨 10.00ペソ (98年 1月 8日現在)

#### (2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度					
予算額					
支出額 (実績)					

#### 4. 事業概要

##### (1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治活動（域内行事、対外交渉、施設の運営・管理等）</li> <li>・日本食レストランの運営</li> <li>・学校運営</li> </ul>
---

##### (2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

###### 1) 分野名：域内親睦

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
恒例行事として、新年会・春の歌謡大会・子供の日のまつり・敬老会・先亡者慰霊祭、優秀学生表彰式を実施。その他にも毎月日本映画の上映会、セミナー等を開催している。	日系社会全体にまとまりがなく、多くの日系人が協会の活動に興味を持たなくなっている。いかに彼らを協会及び日系社会に組み入れて行くかが現在の大きな課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい行事の企画</li> <li>・各日系団体との連絡を密にし情報交換を図る。</li> <li>・会員確保のためのサービス向上、キャンペーン活動の展開。</li> </ul>	日系社会の連帯強化

###### 2) 分野名：レストラン

日本食レストランの運営	日本人スタッフがいないため、サービス・味などにおいて、まだまだ向上の余地がある。また在庫管理等に問題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫管理の充実</li> <li>・昨年より経験豊富なマネージャーを雇いサービスの向上に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人調理師による研修などを通し、味の方も改善していきたい。</li> <li>・全体的に売上げの増加に努めたい。</li> </ul>
-------------	--	---	--

###### 3) 分野名：日本語教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校の運営</li> <li>・日本語教師合同研修会の開催</li> <li>・小・中学生話し方大会の開催</li> </ul>	学校運営に携わる職員の欠如（これまではJICA派遣のシニアボランティア・青年ボランティアによって運営されてきた。）	12月より新しく日本人の事務員を入れ、組織づくりに取り組んでいる。	メキシコにおける日本語教育の中心的役割を果たせるよう学校運営の充実に図りたい。
---	---	-----------------------------------	---

##### (3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本人事務員の不足	JICA派遣の青年ボランティア（団体事務）の協力を得ている。	青年ボランティア以外の日本人事務スタッフを入れ、長期的に安定した業務の遂行を図りたい。

## 5. その他

### (1) 他国の日系団体との交流とその方法

中南米の主な日系人団体（パン・アメリカ日系人大会への参加を通し交流）

### (2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	<p>・日系人社会にて開催されたイベントに対し、中央政府高官が出席するなど、相互の交流がある。</p> <p>例) 1997年5月に行われた日本人メキシコ移住百年祭記念式典には、セディージョ・メキシコ大統領に参加いただいた。</p>
地方自治体との関係	
地域住民・民間団体との関係	<p>・チアパスなどメキシコ国内で災害が発生した際には赤十字を通し物資を送るなど、日系社会を代表して支援活動を行っている。</p>

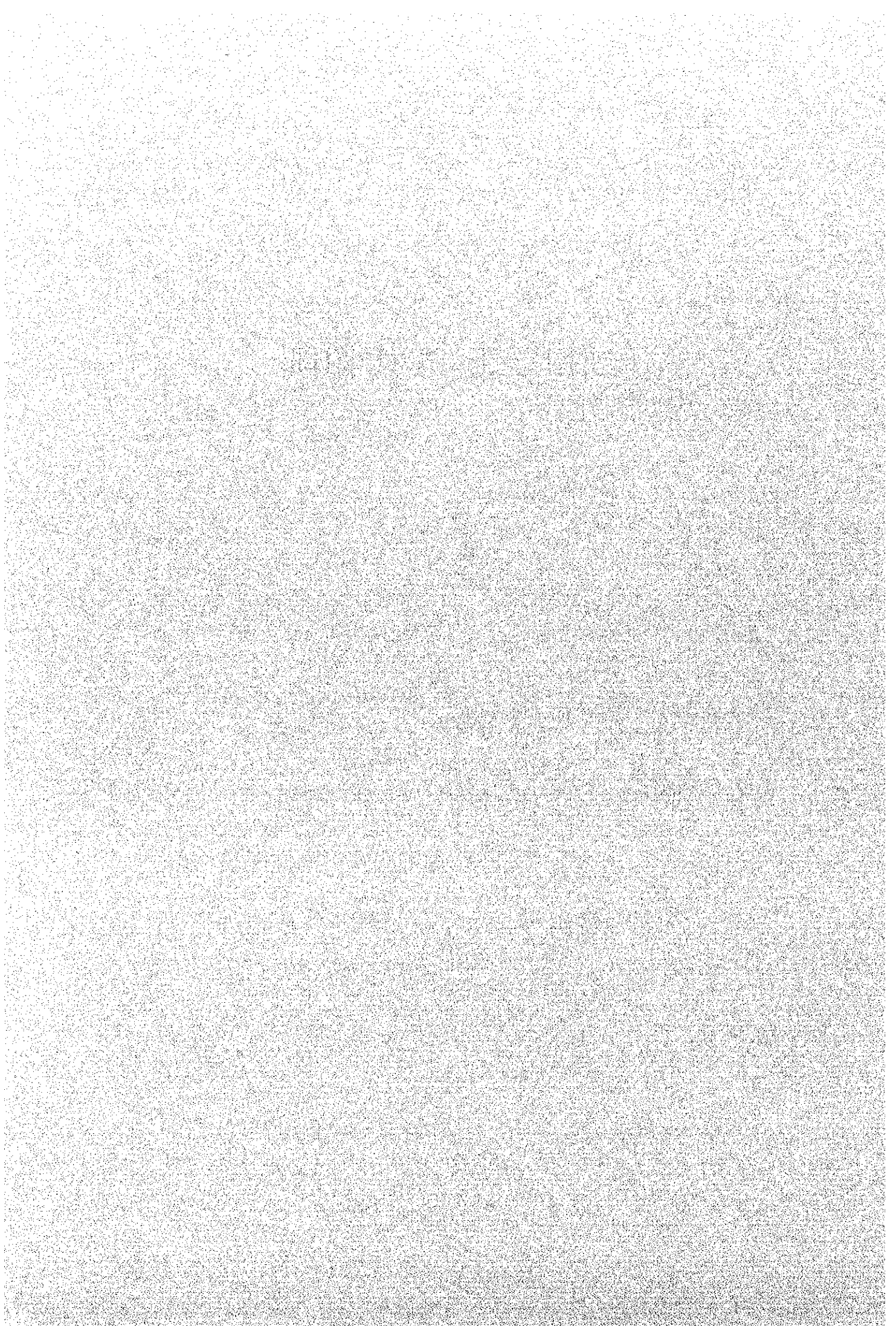
### (3) JICAへの要望・期待

--





コロンビア共和国



## 海外日系団体活動状況調査票

### 1. 基本情報

団体名称	コロンビア日系人協会 (欧文) Asociacion Colombo Japonesa				
設立目的	①会員間における教育、文化、社会的活動の奨励と育成 ②会員間の親睦と融和を図る ③日本語及び日本文化の普及 ④地域社会との接点とし、コロンビア社会に貢献すべく努力する				
設立年月日	1952年 8月 1日	法人格取得年月日	1952年 8月 1日		
代表者	職名	会長	任期	年 月～ 年 月	
	氏名(和文)	新地 学			
	// (欧文)	Manabu Shinchi			
役員構成	会長 1名、副会長 1名、事務局長 2名、財務部長 1名、(クラブ) 運営部長 1名、文化部長 1名、運動部長 1名、支部長 4名、婦人部長 2名、青年部長 1名、日本語学校校長 1名				
本部所在地	Calle 14, Norte 9-N-72, Apartado Aereo 1759, Cali, Valle, Colombia				
連絡先	郵便物宛先	Calle 14, Norte 9-N-72, Apartado Aereo 1759, Cali, Valle, Colombia			
	電話番号	660-4504/4505(会長宅: 668-0005)	(団体)	個人宅[ ]	)
	FAX番号	660-4506	(団体)	個人宅[ ]	)
	E-mailアドレス	asojaponesa@telesat.com.co	(団体)	個人宅[ ]	)
会員数	個人会員	92世帯 92名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		52人(56%)	30人(33%)	1人(1%)	__人(____%)
	法人、団体会員	1法人(団体) 主な法人(団体)名: コロンビア福岡県人会			
会員資格等	会員資格	・日系人 ・日系人の配偶者(コロンビア人) ・コロンビア国に在住の者 ・成人(18才)			
	会費	年間 215米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨1,400ペソ)			
	会員の特典	クラブ、交流会館、図書室の常時利用、日本語学校授業料の割引等			
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等) 現地語(スペイン語)と日本語の両方				
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) スペイン語、日本語の両方				
定期出版物	タイトル	「日系コロンビア」			
	発行部数	160			
	言語	スペイン語/日本語			
	価格(有料の場合)	無料			

## 2. 事業実施体制

### (1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局	1	2
	クラブ運営部	1	1
	文化部	1	1
	運動部	1	1
	経理部	1	1
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校		
	日系人クラブ		

### (2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
婦人部	本会員の婦人の親睦を図ると共に、対外的に活動の支援を行う	86
青年部	本会会員の子弟、青少年間の親睦交流が目的	49
敬老会	本会会員及び、会員外の日系人（70才以上）の親睦交流を図る	45
教育委員会	本会の教育活動の大目標を決定する教育機関	6
ゲートボール愛好会	会員の運動促進を図る	23
カラオケ愛好会	愛好者同志の親睦	28

### (3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
事務所	常時職員がおり、協会の一般事務、業務を行っている。
旧日コ交流会館	現在は利用していないので、リースしている。
新日コ交流会館	日本語学校の校舎として利用している。事務員の他、雇用人が常時勤務している。
日系人協会クラブ	パルミラ市郊外にあり、約3haの敷地に会館と運動場などの設備がある。 会員の週末等にサッカー、プール、ゲートボール等に利用している。
付属日本語学校	交流会館で、日本語の授業を行っている。

### 3. 財政状況

#### (1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1) 前期繰越金	12,540.00	1) 人件費	
2) 会費収入	14,675.00	日語教師謝金	18,250.00
3) 事業収入		その他	29,628.00
教育文化事業	27,794.00	2) 税金	
その他	6,449.00	土地、資産税等	9,439.00
4) 家賃収入	26,400.00	特別所得税	2,826.00
5) クラブ入場、賃貸料	483.00	3) 事業費	
6) その他		教育文化事業	4,310.00
資金運用益	1,883.00	その他	5,962.00
寄付	3,302.00	4) 光熱費、通信費	9,118.00
雑収入	612.00	5) 一般経費	16,812.00
7) JICA助成金		6) 次期繰越金	14,123.00
日語教師謝金	6,252.00		
日語教師合同研修会	2,903.00		
教材等購入	3,546.00		
8) 国際交流基金助成			
日語現地教師謝金	3,629.00		
合計	110,468.00	合計	110,468.00

換算レート：US\$1=現地通貨1,400ペソ (97年 1月 日現在)

#### (2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	59,935.00	78,205.00	83,290.00	245,700.00	98,400.00
支出額 (実績)	58,821.00	76,125.00	84,200.00	256,450.00	96,345.00

#### 4. 事業概要

##### (1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校運営</li> <li>・協会クラブ(会館、運動場などの設備あり)の運営</li> <li>・自治活動(大使館、JICA、国際交流基金他との助成金関連業務)</li> <li>・移住70周年記念祭、並びに記念事業の関連業務</li> </ul>
---

##### (2) 重点分野への取組(重要度が高い順に記載)

###### 1) 分野名: 日本語教育(日本文化の普及を含む)

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校の運営</li> <li>・日本語教師謝金の支給</li> <li>・日本語教師合同研修会の開催</li> <li>・日本語能力テストの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の難しさ、複雑さによる生徒離れが多い。</li> <li>・若手日本語教師の不足と一世教師の老齢化が進んでいる。</li> <li>・習得した日本語を利用する場所がない。</li> <li>・本邦研修の機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師自身の教授法などの研修会を催して、研究しあっている。</li> <li>・若手教師はどうしても、日本における経験が不可欠であり、本邦研修会への参加をすすめる。</li> <li>・現地人の日本語教師養成も大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地人の日本語教師養成の為、本邦研修会に参加する機会を与えること。</li> <li>・学習者が日本語を利用し得る機会を作ること。本邦研修会に参加出来るよう指導すること等。</li> </ul>

###### 2) 分野名: 移住70周年記念事業

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本コロンビア学校の設立</li> <li>・診療所の開設</li> <li>・農事試験場の設立</li> <li>・移住史(日本語版、スペイン語版の両方)の発刊</li> <li>・日本文化週間の開催</li> <li>・コロンビア文化週間の日本における開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記3大事業のいずれも用地の確保が先決であり、これに苦慮している。県庁、市役所と折衝中。その上に、建築費、設備費などの問題が続く。</li> <li>・しかしながら、これが成就のあかつきには現地社会に大きく貢献出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バージェ県より学校設立にふさわしい土地の提供を受けているので、現在、どのような形で供与されるのか、これから詰める段階である。</li> <li>・一方これら3事業にたずさわる人材の確保について選考中である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成就・成功に導くためには日本側の精神的、経済的な支援が絶対不可欠であるので、日本の関係方面に支援の要請運動を開始したい。現地側でも会員一致団結して事に当たりたい。又、人材の育成にも努力したい。</li> </ul>
---	--	--	--

##### (3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日系後継者の育成について日系人としてのアイデンティティが希薄気味である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日系二世、三世の人材を育成するための機関の設立を考慮中である。彼ら自身が運営し、団体としての効果と加入者の利益につながるものを模索中である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日系人としてのアイデンティティが希薄なる理由は、①生活に追われていて余裕がない者②日本(母国)を知らない者に多いので、将来何等かの機会に乗じて日本を实地見聞させたい。</li> </ul>

## 5. その他

### (1) 他国の日系団体との交流とその方法

特にないが会報等の交換を行っている団体がある。(日伯文化協会、ペルー新報など)

### (2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	移住70周年記念祭の件にて、当国の外務省との関連はかなり大きい。在ボゴタ日本大使館を仲介して、現在、式典の企画を調整している。
地方自治体との関係	バージェ県庁、カリ市、パルミラ市との関係も頻繁に行っている。特に移住70周年の記念事業に関連して、いろいろな交渉を行い、文化行事等にも協力している。
地域住民・民間団体との関係	バージェ県内唯一の農業団体「コアグロ農業協同組合」との関連は緊密である。日本文化週間の開催に関し、バージェ大学、サンペナベントウーラ大学、イセシ大学、サンティアゴデカリ大学等との交流がある。

### (3) JICAへの要望・期待

①日本語教育に関して、世相は変わりつつある。学習者も減少気味である。本邦研修制度の拡大がこれを挽回するものと確信するので、日系子弟及び現地人日本語学習者で優秀な者を研修させて頂きたい。

②JICAでは現地社会への経済技術援助を行っておられ、日系社会として感謝しているが、往々にて日系人協会が知らないことがある。日系人協会が介入する必要はないが、せめて、同行するだけでも協会の活動に有利となるので、考慮して頂ければありがたい。



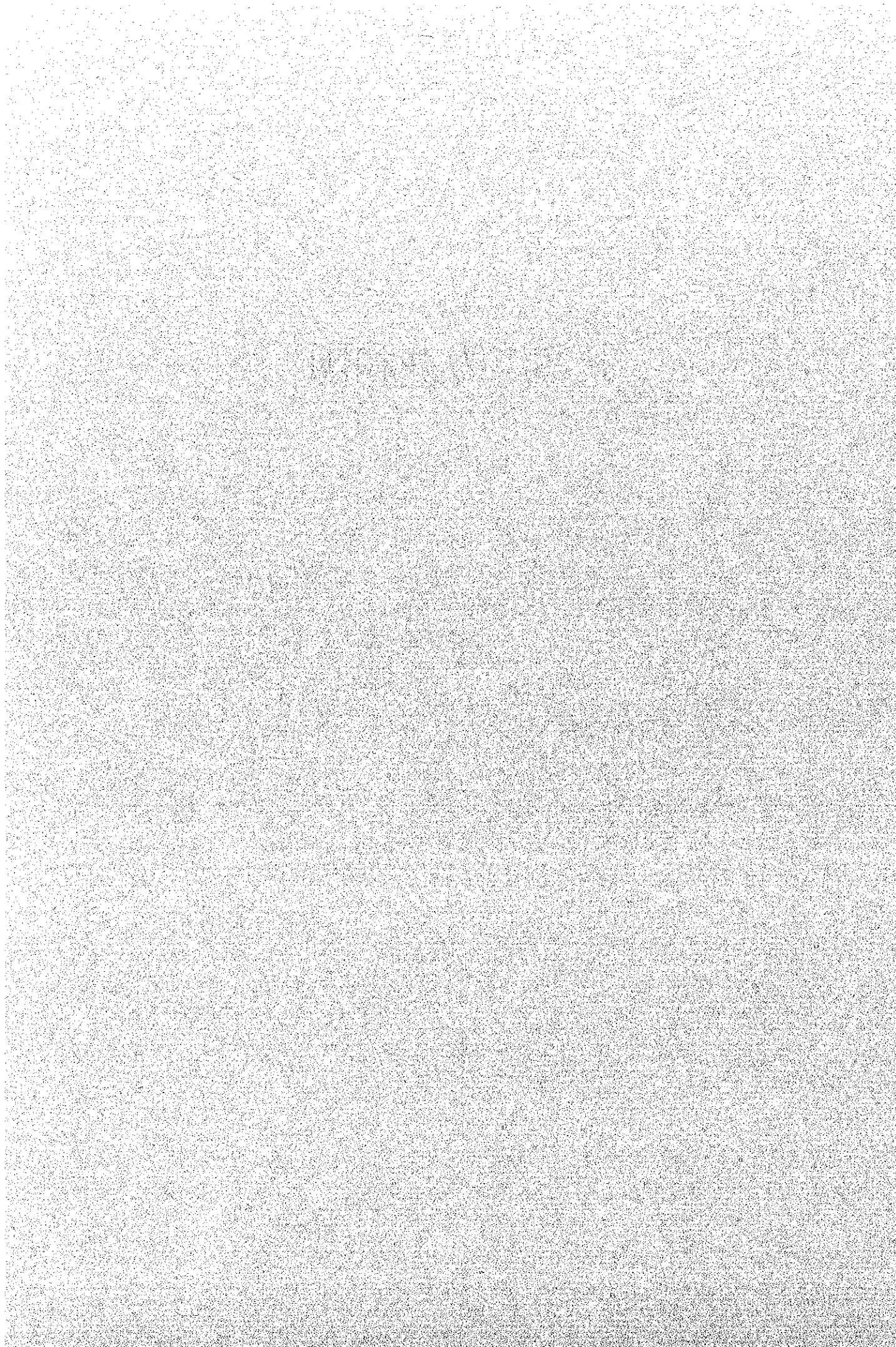
日系人協会クラブひかり園創立30周年祭の式典



野外キャンプ



# ドミニカ共和国



## 海外日系団体活動状況調査票

### 1. 基本情報

団体名称	ドミニカ日系人農業経営研究会				
	(欧文) Sociedad Dominico Japonesa de Estudios Agropecuarios				
設立目的	①会員相互の親睦と福祉の向上 ②先端技術、最新知識の習得 ③情報集積 ④会員の経営基盤の確立と地域社会への発展に貢献する				
設立年月日	1981年 4月 1日	法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職名	会長	任期	98年 4月～99年 3月	
	氏名(和文)	犬山 則男			
	// (欧文)	Norio Inuyama			
役員構成	会長 1名、副会長 1名、事務局長 1名、会計 1名、地区代表理事 6名、監事 2名				
本部所在地	Calle Jose Horacio Rodriguez, Esquina Senioritas Villa Avenida de Los Flamboyanes, La Vega., Republica Dominicana				
連絡先	郵便物宛先	Calle Jose Horacio Rodriguez, Esquina Senioritas Villa Avenida de Los Flamboyanes, La Vega., Republica Dominicana			
	電話番号	573-4244	(団体・個人宅[ ])		
	FAX番号	573-7366	(団体・個人宅[ ])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[ ])			
会員数	個人会員	53世帯 53名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 99%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		53人(100%)	人(%)	人(%)	人(%)
法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名：				
会員資格等	会員資格	・ド国に在住する日本人移住者及び日系人で農業を営む、満20才以上の者 ・会費を納入する者 ・本会の趣旨に賛同する者 ・本会の義務を遂行する者 (入会金65ドル)			
	会費	年間 20米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨1.56ペソ)			
	会員の特典	生産資材の割引購入 先進地への研修			
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)				
	日本語及びスペイン語の両方				
定期出版物	タイトル	農業研究会会報			
	発行部数	50～60			
	言語	日本語及びスペイン語			
	価格(有料の場合)				

## 2. 事業実施体制

### (1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	水稲グループ	1	
	蔬菜グループ	1	
	果樹グループ	1	
	畜産グループ	1	

### (2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
水稲グループ	それぞれに研究する	10
蔬菜グループ	それぞれに研究する	15
果樹グループ	それぞれに研究する	13
畜産グループ	それぞれに研究する	5

### (3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

## 3. 財政状況

### (1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日～98年 3月31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	17,289.24	会議費	946.37
会費収入	416.40	助成事業費	1,777.35
事業収入	157,566.01	研修費	1,309.65
その他収入	547.67	事務費	131.33
JICA助成金	2,061.32	事業費用	148,270.44
		繰越金	25,445.50
合計	177,880.64	合計	177,880.64

換算レート: US\$1=現地通貨 15.85ペソ (98年12月30日現在)

### (2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	6,779.44	17,850.83	112,348.73	106,482.06	179,773.40
支出額 (実績)	6,379.10	17,054.57	109,395.49	101,317.00	152,435.15

#### 4. 事業概要

##### (1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究生制度の充実（国外）</li> <li>・ 農業情報の集積</li> <li>・ 自然農業技術の向上</li> </ul>
--

##### (2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

###### 1) 分野名：農業振興

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
研修生制度の充実 自然農法の技術 農業情報の集積	先端技術、最新知識の習得 土地の老化、化学肥料 後進国にいながらの新知識 の導入	年2～3名研修 自然農法モデル地区育成 共同試作 図書購入、専門家の講演	日本人技術者の育成 全体的な自然農法への転換 新技術による営農経営

###### 2) 分野名：域内親睦

親睦行事として家族の研修 旅行	各会員の農場視察に、若い 世代の参加を求める 農業後継者の減少	各会員の農場視察、試食 若い世代が参加できる計画	
--------------------	---------------------------------------	-----------------------------	--

##### (3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

#### 5. その他

##### (1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし
------

##### (2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との 関係	特になし
地域住民・民間 団体との関係	特になし

##### (3) JICAへの要望・期待

<p>①助成金の増額：現在の助成金では年2回のブラジル派遣専門家の案内等で全額支払する状況である</p> <p>②農業試験場の設置：ド国にも数十ヶ所の農業試験場はあるものの、予算等の関係で全てその機能を果たしていない。日本政府の援助で徹底した試験場が欲しい。</p> <p>③農業専門家の常置：この問題は20年前より要望してきた事項で、進歩の激しい現在では必要とするものである。ブラジル国より年2回技師が来ド、指導いただいているが、その時その時の状況に間に合わない。ド国日系人に果樹栽培を奨励し多数の者がそれぞれ果樹栽培にふみ切ったものの、これの指導者がなく失敗に終わったのは事実である。日系人農業発展の為に至急専門家の常置を切望するものである。</p>
---

# 海外日系団体活動状況調査票

## 1. 基本情報

団体名称	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会					
	(欧文) Comision de Iniciativa de la Academia de Idioma Japones					
設立目的	日系人子弟に対し、日本に関する正しい知識と理解を養い、あわせて家庭及び邦人社会における意志の疎通を円滑にするため日本語教育を行う					
設立年月日	1972年	月	日	法人格取得年月日	年 月 日	
代表者	職名	委員長		任期	97年 4月～99年 3月	
	氏名(和文)	笠原 義昭				
	// (欧文)	Yoshiaki Kasahara				
役員構成	委員長 1名、副委員長 1名、会計 1名、監査 2名、参与 3名					
本部所在地	Calle Francisco Prats Ramirez 106, Ens. Piantini, Santo Domingo, Rep. Dominicana					
連絡先	郵便物宛先	a/c JICA en Rep. Dominicana, Apartado Postal No. 1163 , Santo Domingo, Rep. Dominicana				
	電話番号	541-5069/541-5666		(団体・個人宅[     ])		
	FAX番号	541-5666		(団体・個人宅[     ])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[     ])				
会員数	個人会員	世帯     名		地域内日系家庭全体に対する加入率：約     %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(     %)	人(     %)	人(     %)	人(     %)	人(     %)
法人、団体会員	法人(団体)     名     主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	・会員制度は採用していない。				
	会費	年間	米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨)			
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	基本的には日本語だが、現地語(スペイン語)も使用					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
定期出版物	タイトル	育めキスケージャに(新聞)				
	発行部数	250				
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)					

## 2. 事業実施体制

### (1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	9	6

### (2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
事務局	運営委員会の経理及び各校への連絡、行事の企画などを行う	2
各校父母会	各地区での日本語教育が円滑に行なえるように協力する	19

### (3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
事務所	常時職員がおり、業務遂行の為に利用（除く木曜日）
倉庫	
サントドミンゴ日本語学校	毎土曜日8:30～15:00日系子弟の授業、毎水曜日18:30～20:30研修科 他会合、文化活動など日系人が利用。また日本人児童補習校にも開放。
	いずれも管理はサントドミンゴ校父母会による。

### 3. 財政状況

#### (1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日～98年 3月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度繰越金	697.31	会議費	856.77
前年度引当金	6,451.61	合同研修会費	3,664.92
前年度授業料	300.00	行事費	5,093.85
授業料	10,324.00	日本語教師謝金	21,445.35
入学金	641.94	出張費	757.16
JICA助成金		教材等購入費	5,877.94
日本語教師謝金	5,240.91	教材開発費	1,043.20
合同研修会費	3,491.02	教室借料(南部校)	64.52
教材等購入費	8,777.53	車両維持費	1,960.45
ドミニカ日系人協会助成金	322.58	雑費	312.23
寄付金(含行事収入)	7,383.29	通信費	631.15
雑収入	3,357.25	事務所光熱費	1,160.00
		翌年度引当金	3,870.97
		次年度繰越金	248.93
合計	46,987.44	合計	46,987.44

換算レート: US\$1=現地通貨 15.50ペソ (98年12月1日現在)

※通貨を統一させる都合上、金額は米ドル表記とし、現地通貨との換算レートを記載願います。

#### (2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	26,882.21	31,363.53	31,756.76	33,885.23	45,629.57
支出額(実績)	26,988.65	34,403.67	39,205.21	42,224.05	46,738.49



#### 4. 事業概要

##### (1) 事業内容

・学校運営
-------

##### (2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

###### 1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本語学校の運営 日本語教師謝金の支給 日本語教師研修会の開催 日系研修員の募集、選考	・教師の人材不足。高齢化によりキャリアのある教師が少なく、若い人材が育たない。 ・財政難による低賃金。 ・教育環境の改善。8校中4校が個人宅やガレージなどを教室として利用。	・本邦派遣ボランティアが月1回若い人材を対象に勉強会を実施。 ・授業料の値上げ、年度始めのインスクリプションの徴収等を検討中。 ・特になし。今後JICAへ相談。	・地方校に1名、日系社会青年ボランティアの赴任が望まれる。そうすることでシニアボランティアが若手育成のみに集中できる。 ・シバオ地方に公民館等を建設できるようJICAへ呼びかける。

###### 2) 分野名：域内親睦

年中行事として運動会、盆踊りバザーなどを実施。	運営委員のみが実施に取り組み、父母会員の協力が得られない。	現地語しか解さない父母が増加しているので、西語による回覧を配布。	各地区父母会組織の明確化が必要。
-------------------------	-------------------------------	----------------------------------	------------------

##### (3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

#### 5. その他

##### (1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし
------

##### (2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

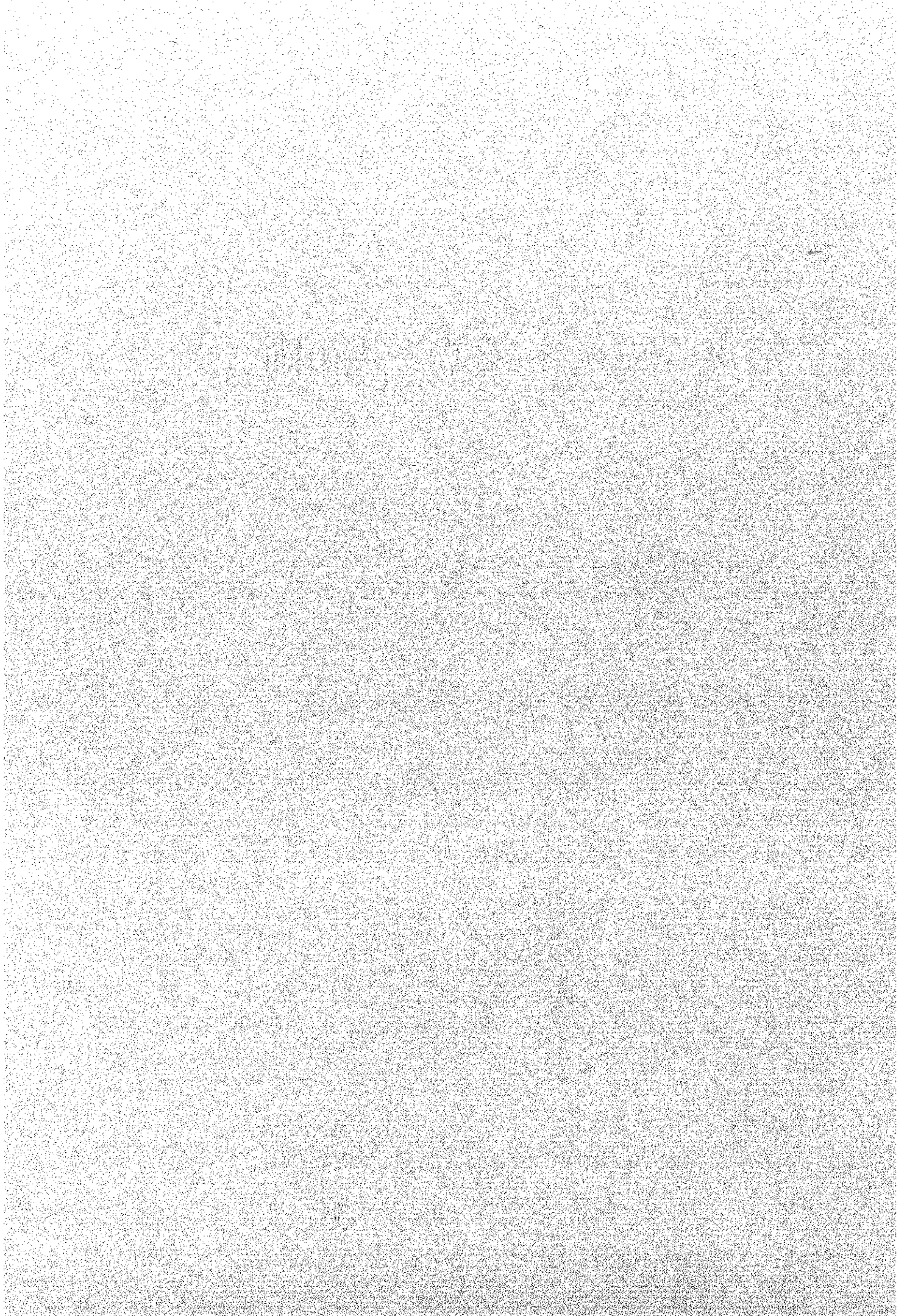
中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	バザー商品の一部を孤児院に寄贈。

##### (3) JICAへの要望・期待

個人宅や現地校を借用している地区に公民館などの建設を積極的に検討していただきたい。
---



ヴェネズエラ共和国



# 海外日系団体活動状況調査票

## 1. 基本情報

団体名称	マラカイボ日本人会附属日本語学校 (欧文) Colegio Japones de Maracaibo				
設立目的	日本語の習得をはかると共に、日本語を通して日本の文化、習慣を学び、国際人としての視野を身につけさせる。				
設立年月日	1986年 7月 22日	法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職名	マラカイボ日本語学校代表者	任期	98年 3月～ 年 月	
	氏名(和文)	芹沢 馨			
	// (欧文)	Kaoru Serizawa			
役員構成	会長 1名、副会長 2名、総務 1名、会計 1名、理事 5名、日本語学校代表者 1名				
本部所在地	Calle 97, No. 6-23, Maracaibo, Estado. Zulia, Apartado Postal 1016, Venezuela				
連絡先	郵便物宛先	Calle 97, No. 6-23, Maracaibo, Estado. Zulia, Apartado Postal 1016, Venezuela			
	電話番号	061-22-7826	(団体・個人店[ 須永 ])		
	FAX番号	061-22-4431	(団体・個人店[ 須永 ])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[ ])			
会員数	個人会員	41世帯 151名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 100%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降 非日系人
		41人(27%)	60人(40%)	25人(16.5%)	人(%) 25人(16.5%)
	法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名:			
会員資格等	会員資格	・地域内居住日系人			
	会費	年間 12米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨 Bs 568)			
	会員の特典	日本語学校入学資格			
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)				
	両方				
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)				
	両方				
定期出版物	タイトル				
	発行部数				
	言語				
	価格(有料の場合)				

## 2. 事業実施体制

### (1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

### (2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

### (3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

## 3. 財政状況

### (1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 29日～98年 1月 27日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	1,902.00	教室使用料	480.00
JICA助成金	1,006.00	JICA助成品の税関手	
授業料	656.00	数料及び運送代	406.00
バザー	605.00	保険	74.50
寄付金	228.00	コピー機修理代	170.50
銀行利息	117.00	教材費	221.00
		次期繰越金	3,162.00
合計	4,514.00	合計	4,514.00

換算レート: US\$1=現地通貨 Bs 500 (98年 1月30日現在)

### (2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	1,333.00	1,000.00	1,500.00	1,081.00	1,000.00
支出額(実績)	3,026.00	2,135.00	1,640.00	1,315.00	1,352.00

#### 4. 事業概要

##### (1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営</li> <li>・自治活動</li> </ul>
--

##### (2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

###### 1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校の運営</li> <li>・日系研修員の募集、選考</li> <li>・文部省派遣巡回指導による夏期講習</li> <li>・カラカス日本人学校修学旅行の受入れと交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日系人の日本語教育に対する関心は高いが、定まった施設がない為12年間で7回移転を繰り返している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今迄借りていたFujitecの余儀ない事情で教室使用は98年12月迄となり、現在教室を探している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手教師の育成</li> <li>・日本語教師への謝金の支給</li> <li>・教育施設の確保</li> </ul>

###### 2) 分野名：域内親睦

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年会</li> <li>・バザー</li> <li>・運動会</li> <li>・ゴルフ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用捻出に苦勞している。</li> <li>・若い世代がもっと積極的に参加できるような環境作り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校費用捻出の為のバザーは会員全員の協力の元、毎年力を入れている。</li> <li>・会員全員が参加出来る行事を企画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人会館を持つ事。</li> </ul>
--	---	--	---

##### (3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在教室がない為、授業の用途がたたない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地校で貸してくれる所を探している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の確保</li> </ul>

#### 5. その他

##### (1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし
----

##### (2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

##### (3) JICAへの要望・期待

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在マラカイボでは、家賃\$400に、電気代・管理費\$180を含め合計\$580は安い賃貸アパートで、最低必要な金額である。日本語教育を充実させる為にも定まった場所を確保する事が是非とも必要であるため、この件の助成を強く要望する。</li> </ul>
---



助成で頂いた楽器で演奏会



マラカイボカントリークラブを借りて運動会